在宅取組型（保小中連携）

学 校 名 等	白川町立佐見保育園・佐見小学校・佐見中学校
実 施 日 時	平成 29 年度　毎月 1 日 15 日（年間を通して）
会　　場	各家庭
参 加 人 数	保育園・小学校・中学校在籍　園児・児童・生徒　とその家庭
学習課題（分野）	毎月１日、１５日は、ノーメディアデー
運営者の願い	毎月1日と15 日をノーメディアデーとし、メディアを離れて読書や家族とふれあう時間をふやしてほしい。昨年度から「チャレンジするコースやこの取組に参加する人を決める」という新しいやり方を導入したので、各家庭の実情に合ったやり方で参加してほしい。

ノーメディアカード　H29 1学期

毎月1日と15日はメディアとはなれて、読書や家族とふれあう時間をつくりましょう！

2 年　氏名

◇下のコースからおうちの人と話し合いチャレンジするコースをえらびましょう。

チャレンジメニュー		参加者	
A	1日中ノーメディア	ア	家族みんなで
B	食事中、学習中はノーメディア	イ	親子で
C	就寝1時間前はノーメディア	ウ	子どもだけで
D	下校後はノーメディア		
E	その他（家庭で決めた目標）		

月	メニュー等		どんなことをやって過ごしましたか	感想等（保護者の方が記入していただいても OK です）
4月	チャレンジメニュー C / 参加者 ウ	4/15（土）	（親子）読書 57分 / お手伝い・外遊び / 学習・ゲーム / その他	
5月	チャレンジメニュー B / 参加者 イ	5/1（月）	（親子）読書 40分 / お手伝い・外遊び / 学習・ゲーム / その他	
		5/15（月）	（親子）読書 50分 / お手伝い・外遊び / 学習・ゲーム / その他	
6月	チャレンジメニュー E（メディアは使わない工作） / 参加者 イ	6/1（木）	（親子）読書 40分 / お手伝い・外遊び / 学習・ゲーム / その他	
		6/15（木）	（親子）読書 30分 / お手伝い・外遊び / 学習・ゲーム / その他	

学　習　の　内　容

＜進め方＞

（1）A～E の中から、チャレンジメニューを決める。
（2）ア～ウの中から参加者を決める。

チャレンジメニュー		参加者	
A	1 日中ノーメディア	ア	家族みんなで
B	食事中、学習中はノーメディア	イ	親子で
C	就寝 1 時間前はノーメディア	ウ	子どもだけで
D	下校後は、ノーメディア		
E	その他（家庭で決めた目標）		

（3）何をして過ごしたか○で囲む。読書時間を記入する。
（4）感想を記入する。（保護者が書いてもよい）
（5）カードを担任の先生へ出す。

＜参加者の感想＞

久しぶりにかるたをしました。（中略）こういう遊びができるのもノーメディアだからこそですね。
（チャレンジ B：保育園保護者）

食事中・学習中はいつも意識していました。親子で気を付けられてよかったです。
（チャレンジ B：小 2 保護者）

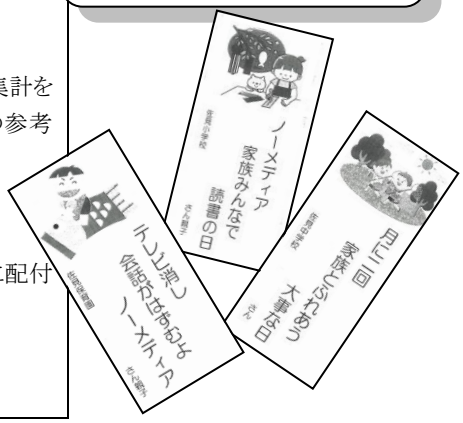
1 日中ノーメディアのおかげで「吾輩は猫である」が読めました。（中略）全部読んでいないので、6 月中に読み終えたいです。
（チャレンジ A：小 6）

テストに向けての勉強をしました。就寝 1 時間前は、読書と明日の時間割をするなどしてメディアから離れました。
（チャレンジ C：中学生）

★保小中が連携した、地域ぐるみの取組!
家族みんなで取り組める!
★年間を通した継続的な取組。
ノーメディアの日常化!!

★チャレンジメニュー、参加者を各家庭で選ぶ。各家庭に合った内容で取り組むことができる。
★学習や読書との関連を図り家庭生活を丸ごと考えることができる。

＜関連する取組＞

① 結果の報告
保健室からの保護者向け通信で、生活習慣・学習時間とともに 1 日平均のメディア時間の集計を行い、各家庭に知らせている。学年の傾向やよくなっていること等が分かり、次の取組の時の参考になる。

②メディアカレンダーの制作
平成28年度に保小中に在席する園児・児童・生徒（保護者を含む）からメディアに関する標語を募集した。その中から選んだ 12 点を使った平成29年度カレンダーを制作し全家庭に配付した。家庭での意識の高まりと継続化が図れた。